

保護者様へ

研究協力に関するお知らせ

熊本県立大学環境共生学部環境共生学科食健康環境学専攻給食経営管理学的研究室では、令和 6～7 年度の卒業研究の一環として、(研究参加同意者氏名)様から研究参加の同意を得て研究を実施いたします。

本研究への参加は任意です。以下の研究概要をお読みいただき、保護者様の立場からわからないことや何か心配なことがありましたら、本研究に関する連絡先までご連絡ください。

記

【研究概要】

研究課題「避難所における照明環境が汁物に対する味覚に与える影響」

1. 目的

避難者の感性(温度感、味の嗜好)に則した避難所生活を実現するため、実際に共同研究者が開発しているテントで使用する照明を利用し、照明の味覚変化への影響を明らかにすることで、より健康的に避難所生活を送ることが出来るかを検討する。

2. 研究期間

令和 6 年 9 月 12 日～令和 8 年 3 月 31 日

3. 調査方法

1) 内容

①味覚トレーニング

2 種類の異なる濃度の対象溶液をそれぞれ R、K とし、どちらの方が濃度が高いと思うかを回答する二点識別法を用い、正答率 100%になるまで繰り返す。

②味覚調査

塩味、酸味、うま味の 3 項目に対して 2 種類の濃度の溶液を摂取し、濃度が高いと思う方を選択する二点識別法と好ましいと思う方を選択する二点嗜好法で調査する。

2) 場所：熊本県立大学

3) 回答時間：10 分程度

4. 個人情報の取り扱い

官能評価によって得られた内容は仮設検証のためのみに使用し、個人を特定できない形式で学会等で発表します。個人情報を ID 化する際に使用するパソコンはインターネットに接続しません。得られたデータは分析する前に個人情報を削除して ID 番号を付け、誰のものか分からないようにし上で、当研究室で厳重に保管します。具体的には外部記憶装置等によるデータの持ち出しを禁じ、外部記憶装置および紙データは鍵付きロッカーで管理します。資料の保管期間は研究が終了する令和 7 年 3 月末から 5 年経過した時点、あるいは原著論文として公表する場合は、その最終公表から 3 年経過した日のいずれか遅い日までとし、保管期間後は責任をもってシュレッダーあるいは溶解処理にて廃棄処理します。

5. 結果の公表

この研究で得られたデータはすべて集団として統計解析を行い、学会発表や学術誌などで公表します。個人のデータを公表することはなく、研究結果から個人が特定されることはありません。

6. 利益相反

本研究に関して、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

7. その他

本研究に関して学生の皆さんに費用の負担、謝金等はありません。

8. 本研究に関する連絡先

熊本県立大学 環境共生学部環境共生学科 食健康環境学専攻

氏名 中嶋 名菜

E-mail : nana-na@pu-kumamoto.ac.jp

電話 : 096-321-6695

以上